

## ⑦総評

### 【特に評価の高い点】

#### ◇子どもを尊重した支援

全ての職員が子どもを尊重した支援を実施するために、共通した理解を持って取り組む必要があると考え、コモンセンスペアレントの講習を受ける等、標準的な実施方法の構築に努めている。職員は日常の支援の中で、受容的・支持的態度で子ども達と寄り添い、子どもと共に課題に向き合う姿勢を示している。また、子どもとの話し合いの場では、子どもの話を否定せず傾聴することに努め、子どもの意見について可能な限り実現をさせていく努力をしている。子どもへのアンケート調査の結果からは、子ども達の職員への信頼度が高いことが見て取れる。

#### ◇支援の質を高めるための取り組み

開設5年目の施設であり、経験の浅い職員が多い中で、支援の質の向上を図る取り組みを積極的に行っている。支援の質の向上を図るには、職員の資質の向上を図ることが重要と考え、職員が行った支援内容を「仕事状況チェック表」で毎月振り返りを行っている。その内容について施設長との個別面談を実施することにより、職員の資質は確実に向上に向かっていく。

### 【改善が望まれる点】

#### ◆職員の支援力の向上と定着率の向上

職員の平均勤続年数が2年に満たず、支援力が平均化されていない状況である。支援の質を高めるための取り組みを推進するとともに、職員の経験年数を積み上げることで、職員一人ひとりの支援力の向上と定着率の向上を図ることが望まれる。安定的な職員雇用を産み出すためにも、“働きやすい職場づくり”の推進が期待される。

#### ◆子どもの満足度調査の実施

各ユニットで、子どもとの個別面談や小・中・高校生毎の話し合いの場が持たれ、子どもからの意見・要望等を聞くように努めている。しかし、より一層子どもの意向を把握して満足度の向上を図るためには、定期的に満足度調査を行うことが望まれる。子どもの満足度の推移（上昇、下降）は、職員の支援の質を測るバロメーター（指標）ともなる。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

当施設は、開設5年目の児童養護施設としては歴史も浅く、職員も経験年数が少ない中で、養育・支援の基本をはじめとする、「子どもを尊重した支援」や「支援の質を高めるための取り組み」について評価いただき、当施設の取り組みの方向性が間違っていなかったことを確認することができ、今回の第三者評価はとても有意義なことでした。

反面、「理念・方針と経営状況の把握」の点で、特に経営状況の把握は本部任せのところも多々あることも事実で、今後、施設長としても把握に努めなければならないことと反省しております。また、改善が望まれる点としてご指摘いただきましたことや「評価項目数に対して出来ている項目数の割合」で出来ていない部分についても、評価結果を真摯に受け止め、改善に向け取り組みを行う所存です。

最後に、今回の第三者評価を受けるにあたり、評価機関の代表様や評価訪問調査員の皆様には、当施設の説明をしっかりと受け止めていただきましたし、改めるべき点は簡潔明瞭にご指摘いただくとともに、親切丁寧にご指導をいただきましたこと感謝いたしております。